

第76回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第76回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM) No. 6」への一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ウェブサイト上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、学会の最新情報は第76回大会ウェブサイト (<https://www.right-stuff.biz/jspfsm76/>) をご覧ください。

記

1. 会 期：令和3年9月17日(金)、18日(土)、19日(日)
2. 会 場：三重県総合文化センター
(〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地)
3. 大 会 長：加藤 公（鈴鹿回生病院院長）
4. 大会事務局：皇學館大学 教育学部内
第76回日本体力医学会大会事務局
事務局長：片山 靖富（皇學館大学 教育学部 准教授）
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL/FAX：0596-22-8148（直通）
E-mail：tairyokumie.jimukyoku@gmail.com
運営事務局：株式会社ライトスタッフ内
第76回日本体力医学会大会運営事務局
〒910-0019 福井県福井市春山1丁目1-14 福井新聞さくら通りビル3階
TEL：0776-25-7201 FAX：0776-25-7202
E-mail：jspfsm76@right-stuff.biz
5. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) 国際セッション
 - (6) ワークショップ
 - (7) 一般研究発表（口頭・ポスター）
 - (8) ランチョンセミナー
 - (9) 学会賞受賞講演
 - (10) その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ウェブサイト上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りする予定です。

2. 大会参加費（予定）

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員	事前・当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

2021年4月1日(木)～7月26日(月) 正午まで

(2) 事前登録方法

事前登録はウェブサイト上で受け付けます。大会ウェブサイト参加登録のページから、案内に従い登録を行って下さい。

第76回学会大会ウェブサイト：<https://www.right-stuff.biz/jspfsm76/>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意ください。

(3) 事前登録の参加費支払い方法

後日公開する大会ウェブサイト参加登録のページをご参照ください。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない会員、非会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録窓口を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

シンポジウム募集のお知らせ

第76回日本体力医学会大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

【応募資格】

日本体力医学会会員

【応募方法】

1. 応募申込要項

シンポジウム応募申込登録を、第76回学会大会ウェブサイト：<https://www.right-stuff.biz/jspfsm76/>にて行ってください。

2. 締め切り

2021年3月5日(金) 正午まで

【選考方法】

第76回日本体力医学会大会実行委員会で審査し、選出する予定です。

【結果通知】

選考結果は2021年3月下旬までに通知いたします。

【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては学会参加費徴収を行いません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

演題応募方法

【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方で日本体力医学会に入会希望の方は、日本体力医学会ウェブサイトからオンラインで入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階
学会支援機構内

Phone: 03-5981-6015（学会専用） Fax: 03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

【登録方法】

演題登録開始：2021年4月1日（木）正午から

締切：2021年5月20日（木）17時まで

一般研究発表の演題登録の際には、大会ウェブサイト上で事前登録も併せてお願いします。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ウェブサイト演題募集ページより、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFISM No. 6」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意ください。

大会ウェブサイトURL: <https://www.right-stuff.biz/jspfsm76/>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFISM No. 6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFISM No. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始 2021年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 2021年9月30日（木）正午まで

締切を過ぎると「JPFISM No. 6」への抄録の掲載ができません。

【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ウェブサイト上に随時掲載いたします。

査読をお願いした先生方は次の方々です

2020年1月1日～2020年11月30日投稿分

相澤勝治	国正陽子	辻大士	松下宗洋
浅井仁	神野宏司	寺田新	松田晃二郎
東宏一郎	小林雄志	鳥居俊	松田雅弘
足立哲司	小柳好生	中垣内真樹	緑川泰史
天笠志保	権泰史	長島未央子	宮口和義
安藤大輔	齋藤輝	中根俊成	宮本直和
安藤良介	齊藤陽子	中野貴博	森田憲輝
飯田祥明	坂本優子	中村真理子	森原徹
石田光男	佐々木一茂	中山晴雄	門間陽樹
石道峰典	笹田周作	檜崎兼司	安田純
泉重樹	笹山健作	難波秀行	安松幹展
板倉尚子	重森裕	沼尾成晴	柳岡拓磨
岩田全広	設楽佳世	野井真吾	山田実
江口泰正	柴田重信	野嶌一平	山田睦雄
大須賀洋祐	清水和弘	萩裕美子	山田陽介
小笠原一生	進矢正宏	橋本雅至	山仲勇二郎
小野玲	鈴木伸弥	原田和弘	吉居尚美
笠次良爾	清野諭	東田一彦	吉村英一
金岡恒治	蘇リナ	兵頭和樹	和阪俊昭
上條義一郎	高井洋平	平山大作	渡邊航平
川端隆志	高波嘉一	福島教照	渡邊將司
岸本裕歩	棚橋嵩一郎	前田久	渡辺賢
木田哲夫	谷口優	町田修一	
工藤和俊	丹治史弥	松浦亮太	

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年9月）議事録

日 時：2020年9月23日(水) 午後5時30分～6時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、太田 真、

大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、小山勝弘、

下光輝一、新開省二、須田和裕、須永美歌子、

竹森 重、田中喜代次、中里浩一、永富良一、

成田和穂、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、

和気秀文各理事、

井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長

欠席者：井福裕俊、宮川俊平各理事、小林康孝監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録の内容確認を本日の理事会開催中に行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、会議終了時までには訂正等がなかった場合、自動的に承認されることにした。

2. 理事会開催日程について（鈴木理事長）

資料に基づき、今後の理事会日程案が提示され、以下の通り2021年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2020年11月20日(金)
- ・2021年2月19日(金)
- ・2021年5月21日(金)
- ・2021年8月27日(金)
- ・2021年9月16日(木) ※第76回三重大会前日

3. 編集委員会 剽窃検出ソフトの導入と掲載費 (Article Processing Charge) 免除制度の創設について (後藤編集委員長)

資料に基づき、剽窃検出ソフトの導入と掲載費 (Article Processing Charge) 免除制度創設の提案がなされ、出席理事全員の賛成により承認された。

1) 剽窃検出ソフトの導入 (JPFSM)

文部科学省が特定不正行為の1つとして挙げている「剽窃」を検出するソフトを導入する。J-STAGEのEditorial Managerでは「Similarity Check」という剽窃検出ソフトが利用可能（1回あたり0.65米ドル）。

昨年度1年間の実績ベース (JPFSM, 2019.9.1～2020.8.31, 68編) では、1回0.65米ドル (70円位) として、1編の原稿を1回のみチェックすると約70円×68編 (昨年度JPFSM実績) = 4,760円 投稿原稿が増え、かつ為替が円安に振れても、年間1万円もあれば導入可能。

体力科学にも導入可能。ただし、日本語の利用実績は少なく、検出精度もそれほど高くない。両雑誌に導入しても、年間2万円未満。

※当面の運用

1. 当面は、剽窃検出ソフトを使用していることを明示することでの予防効果を狙う。

2. 類似性が高い原稿があった場合は、査読前に編集者が要注意原稿として注意深く確認をする。

3. 当面は、参考値としてのみの取り扱いとして、本学会としてデータを収集・解析して、著者に対応をお願いする数値を決定する。

2) 掲載料免除制度

オープンアクセスジャーナルのホワイトリストであるDOAJ (Directory of Open Access Journal) 掲載の条件に、発展途上国などの国の著者から投稿原稿に対して、掲載費 (Article Processing Charge : APC) の免除制度の設定がある。そこで、JPFSMとして下記のリストにある国々からの投稿 (第一著者および責任著者) された原稿が掲載された場合には、APCを免除する。

"Group A" Research4Life country

(2020年9月15日現在)

- | | |
|---|-------------------------------|
| • Afghanistan | • Madagascar |
| • Angola | • Malawi |
| • Bangladesh | • Mali |
| • Belize | • Marshall Islands |
| • Benin | • Mauritania |
| • Bhutan | • Micronesia |
| • Burkina Faso | (Federated States of) |
| • Burundi | • Mozambique |
| • Cambodia | • Myanmar |
| • Cameroon | • Nepal |
| • Cabo Verde | • Nicaragua |
| • Central African Republic | • Niger |
| • Chad | • Papua New Guinea |
| • Comoros | • Republic of Moldova |
| • Congo | • Rwanda |
| • Côte d'Ivoire | • Samoa |
| • Democratic People's Republic of Korea | • Sao Tome and Principe |
| • Democratic Republic of the Congo | • Senegal |
| • Djibouti | • Sierra Leone |
| • Equatorial Guinea | • Solomon Islands |
| • Eritrea | • Somalia |
| • Eswatini | • South Sudan |
| • Ethiopia | • Sudan |
| • Gambia | • Syrian Arab Republic |
| • Ghana | • Tajikistan |
| • Guinea | • Timor-Leste |
| • Guinea-Bissau | • Togo |
| • Haiti | • Tokelau |
| • Kenya | • Tonga |
| • Kiribati | • Tuvalu |
| • Kyrgyzstan | • Uganda |
| • Lao People's Democratic Republic | • United Republic of Tanzania |
| • Lesotho | • Vanuatu |
| | • Yemen |
| | • Zambia |

• Liberia

• Zimbabwe

(2018年 46÷93=0.49) (2017年 45÷92=0.49)

(2016年 28÷116=0.24) (2015年 16÷140=0.11)

【報告事項】

1. 各種委員会報告

鈴木理事長より、本理事会終了後、引き続き評議員会兼社員総会が開催され、各種委員会報告がなされることとなっていたため、2020年8月28日の理事会に於ける各種委員会報告以降に生じた、新たな報告事項があれば、この理事会にて報告していただくよう、依頼があった。その結果、編集委員会報告のみとなった。

・編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、報告がなされた。

仮想インパクトファクター

(クラリベイト・アナリティクス社調べ 2020.8.27)

2019年に引用された回数20回／2017年～2018年に

掲載されたすべての論文数86編

「JPFISM誌」20÷86=0.23

2. 第76回(三重)大会の進捗状況(加藤第76回大会長)

資料およびパワーポイントを用いて、大会の準備状況と大会概要等が報告された。

会 期：2021年9月17日(金)～19日(日)

会 場：三重県総合文化センター

テーマ：「知の継承と共有」

尚、例年評議員会兼社員総会終了後に次年度の大会会長による挨拶を頂いているが、第76回大会会長の加藤公先生の都合により、ここで挨拶された。

3. 第77回(栃木)大会の進捗状況(武政総務委員長)

コロナ禍のため、第77回大会(栃木)会長候補者との直接面談が行われておらず、2020年11月初旬頃にお会いする旨、報告された。

一般社団法人日本体力医学会 令和2年度評議員会 議事録

日 時：2020年9月23日(水)

午後6時00分～午後7時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登、碓井外幸、西平賀昭、
武政 徹、赤間高雄、太田 真、
大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、
小山勝弘、下光輝一、新開省二、
須田和裕、須永美歌子、竹森 重、
田中喜代次、中里浩一、永富良一、
成田和穂、浜岡隆文、前田清司、
宮内 卓、和気秀文各理事、
井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事

議事録作成者：下光輝一

評議員会開催に先立って、第75回大会長徳田修司先生のご挨拶があった。続いて、武政常務理事により、“Zoomを用いたWeb形式による評議員会兼社員総会が成立するのか”という件に関して説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数529名のうち、委任状を含めて過半数(265名)以上の出席があれば開催可能、となる。現時点(2020年9月23日午後5時30分)で、評議員Web登録委任状および往復はがき委任状併せて258名、Web理事会に出席している28名の理事、監事は全て評議員であり、合計286名となる。過半数265名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、報告された。

武政常務理事により、Web形式による令和2年度評議員会の開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和2年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

1) 会員総数3,943名(2020年7月31日現在)

名 誉 会 員 33名

正 会 員 3,869名

シニア会員 33名

外国会員 8名

賛助会員 6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、大正製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評 議 員 529名

(内) 医 師 77名

(内) 非医師 452名

(内) 理 事 25名

監 事 4名

3) 購読数 135団体

体力科学 128団体

JPFISM 7団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 180名

退 会 者 360名

(内) 申 込 者 183名

自然退会 177名

2. 令和2年度事業報告に関する件(各委員長)

以下のとおり令和2年度事業について報告された。

1. 事業期間

2019年8月1日～2020年7月31日

2. 委員会活動

・総務委員会

◎本学会の庶務に関する事項

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集、候補者検討

◎学会大会長に関する事項

第77回大会(栃木)の大会長候補者の選考中

・編集委員会

◎学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 8のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 9のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol.68のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 69のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

◎JPFISM掲載論文リストのメール配信

◎投稿規定追記（2019.11.20）

「JPFISM」Author Contributionsを追記

「体力科学」著者の資格と著者貢献を追記

◎JPFISMや体力科学に掲載された論文のキーワード検索について

（J-STAGE検索方法）の掲載（2019/10/11）

◎ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFISM」Vol. 8, No. 5

第2回特集：Exercise and blood pressure: Towards better management of hypertension by exercise habituation 6編掲載

「体力科学」Vol. 68, No. 5

第3回特集：介護予防を考える 6編掲載

◎JPFISM海外Editor 6名の追加（2019年11月）

◎編集委員2名の追加（2020年5月）

◎「Study Protocol投稿受付一時停止」(2020.7.17)

「Study Protocol」投稿規程検討ワーキンググループ」による投稿規程検討

◎国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2020年度ジャーナルコンサルティングに採択（DOAJへの収録支援）

7/31ジャーナルコンサルティング「グループセミナー」に参加

◎Editorial Managerでの「ORCID」ならびに「Publons」との連携

●ORCID

（2020.2.25 Editorial Managerで連携開始）

●Publons（Clarivate Analytics社）

契約検討中（有料）

・学術委員会

学術委員会では、下記の5の小委員会にて学会活動を行ってきた。

その中の、「プロジェクト研究委員会」は今年度で終了した。

1) スポーツ医学研修会委員会

◎令和2年度（第31回）スポーツ医学研修会

当初、本年度のスポーツ医学研修会は、基礎コース7月4、5日、応用コース9月18、19、20日（修了試験）に予定されていた。ところが新型コロナウイルス感染拡大を受けて、令和2年3月30日に理事会メール審議にて本

研修会は中止が決定された。中止の決定は本学会ホームページおよび体力科学69巻3号にて告知した。

2) 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」

申請時に委員会にて審査したものを理事会にて承認して頂き、それを総会にて報告した。

3) 学会賞選考委員会

第33回日本体力医学会賞候補の選考を行った。

4) ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「少子高齢化の進行」が大きな社会問題となっているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指した活動などを視野に入れたガイドラインの作成を、他の学術団体との協力も含めて進めている。

また、2021年夏に開催予定の東京オリンピックを視野に入れた、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成を、他の学術団体との協力も含めて進めている。

・財務委員会

令和3年度予算案の作成と令和2年度の予算の適切な執行の確認。

・利益相反委員会

情報収集に努めた。

・評議員選考委員会

①令和元年度新評議員候補者12名（内、女性2名）を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。

②令和2年度評議員候補者推薦書の書式を一部変更した。

③各種委員会の任期満了に伴い、委員会構成メンバーが一部変更された。（委員長は留任）

④評議員選考内規を一部変更し、理事会の承認を受けた後、学会ホームページと機関紙にて衆知をはかった。

⑤令和2年度新評議員候補者8名（全員男性）を選定した。

・渉外委員会

1. 委員長：永富良一

副委員長：宮下政司，和気秀文

委員：荻田 太，小熊祐子，浜岡隆文，

藤田 聡，山内秀樹，秋本崇之，

丸藤祐子，奥津光晴，関根紀子，

橋本健志，門間陽樹，鎌田真光，

福 典之

2. 国際交流事業

(ア) ECSS-JSPFSM Exchange Symposium中止

①2020-Seville 2020.10.28-30

（COVID19のため延期された新日程）

ECSS-JSPFSM-Exchange-Symposium
“Muscle Relaxation in Sports”

シンポジスト：加藤考基（南山大学）、大高千明（奈良女子大学）、Vogt, Tobias（ケルン体育大学：座長）

②ECSS 2020.10.28-30 オンライン開催

交流シンポジウム中止

③ECSS 2021 Seville, ECSS2022 Glasgowに
予定変更

1. 2021 Glasgow 公募申請未定
(国内選考済み)

(イ) 第75回日本体力医学会大会(鹿児島)
2020.9.24-26における国際交流事業: ECSS
2019 Young Investigators Award Winners
の招聘

来年度に繰り越し予定

(ウ) ECSS 2020 Virtual 2020.10.28-30 Young
Investigators Award Winnersの日本体力医
学会大会への招聘 検討中

(エ) 国際学術交流奨励賞

(オ) 2020横浜スポーツ学術会議

(2020.9.8-12 Web会議) 企画

(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)
Web

日本体力医学会提案企画

ライブ開催9月11日

16:00-17:30 Sports under the COVID19
pandemic (K16)

Tim MEYER, Stephane BERMON, Ryo-
chi NAGATOMI

17:30-19:00 Technology and sports (Q24)

Hiroaki HOBARA, Stephane BERMON,
Tetsuo NISHIYAMA

(カ) 他の国際学会との連携

(下記が予定されているが、いずれも延期・中止)

①AFSM (アジアスポーツ医学会), FIMS (国
際スポーツ医学会)

②ACSS (Asian College of Sports Science
仮称) 準備委員会設立時参加国 (予定):
China, Singapore, Malaysia, Hong Kong,
Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and
Japan

③韓国運動生理学会 (The Korean Society of
Exercise Physiology)

3. 国内関連学術団体との交流・連携

(ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同
会議

(イ) 国内学会との連携

①日本生理学会大会

②サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動
療法学会など

・倫理委員会

◎大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・広報委員会

1) 学会ホームページの管理・運営

2) 学会ホームページのコンテンツ (刊行物紹介)
の追加

・男女共同参画推進委員会

1) 男女共同参画学協会連絡会 第18期 運営委員
会への出席

2) ワークショップ開催に関する検討

・全国地方会実行委員会

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2月以来
各地方会の大会が中止となっているが、求めに応
じて助言を行った。

3. 第74回日本体力医学会大会の実施

大会長: 田中喜代次 (筑波大学名誉教授)

会 期: 2019年9月19日(木)~21日(土)

会 場: つくば国際会議場

4. 令和3年度日本体力医学会健康科学アドバイザー

◎称号認定者

・新規 5名

石根左恵	静 貴生	橋本俊英
三宅秀夫	武藤麻衣	

・継続 5名

高寄正樹	青木昌弘	田口太郎
植村 望	トンプソン雅子	

・終身 7名

五十嵐貴仁	小貫睦巳	表 郁夫
新矢博美	田崎博識	松山 茂
村瀬智彦		

3. 令和2年度会計(決算)に関する件(鈴木理事長)

宮川財務委員長が欠席のため、鈴木理事長が代理で
報告された。

令和2年度収支決算書(令和元年8月1日~令和2
年7月31日)収入の部について、令和2年度収入予算
小計額は98,138,800円であったが、収入決算小計額は
87,339,887円であった。この差額10,798,913円が生じた
主な原因は、第74回つくば大会における収入決算額
の大幅な減少である、ことが説明された。また、支出
の部について、令和2年度支出予算小計額99,184,800
円に対し、決算小計額は80,113,398円で、19,071,402円
の差額が生じた。支出決算額の大幅な減額は、主に第
74回つくば大会支出決算額の大幅な減少に起因して
おり、その他に、新型コロナウイルス感染拡大防止の
ため、国内外交流事業の中止、スポーツ医学研修会中
止による運営費の支出減少や対面式理事会の中止に
よる会議室借用代、会議出席者の旅費等が減少した
結果に起因したことが説明された。収支決算額につ
いては、令和2年度収入決算小計額87,339,887円に対
し、支出決算小計額は80,113,398円となり、7,226,489
円(=87,339,887-80,113,398)の黒字となったこと
が報告された。令和2年7月31日現在の正味財産は
102,999,060円で、昨年(令和元年7月31日)現在の正味
財産97,069,306円に比較し、5,929,754円増額となっ
ている。新型コロナウイルス感染拡大防止のために種々
の事業中止等による支出減少に起因したためである
との説明がなされた。また、本決算については公認会計
士によるチェックが行われていることが併せて報告さ
れた。清田監事より監査報告が行われたことが報告さ
れた。

4. 令和3年度事業計画に関する件(各委員長)

令和3年度事業計画について、以下のような報告が
なされた。

1. 事業期間

2020年8月1日~2021年7月31日

2. 委員会活動

- ・総務委員会
 - 第78回佐賀大会の大会長の推薦
学会総務に関わる規則の見直し
 - ・編集委員会
 - 1) ジャーナルの発行, 公開
JPFSM: Vol. 9-4~10-3 (合計6号)
体力科学: Vol. 69-4~70-3 (合計6号)
 - 2) 掲載論文数を増やす
[JPFSM]: 特集を掲載する.
[体力科学]: 特集を掲載する.
 - 3) 「ACSM運動処方指針(原著第10版)」の翻訳本の出版
 - 4) JPFSMに掲載する大会抄録における研究倫理記載事項の検討
 - ・学術委員会(碓井外幸委員長, 須田和裕副委員長)
 - 1) スポーツ医学研修会実行委員会
(中里浩一委員長)
第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の実施
(学会HP・体力科学に案内を掲載)
※令和2年度に中止した第31回スポーツ医学研修会を実施
 - 2) 称号委員会(碓井外幸委員長)
日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請により実施
 - 3) 学会賞選考委員会(前田清司委員長)
第34回日本体力医学会賞候補の選考を実施
 - 4) ガイドライン検討委員会
「生活習慣病の蔓延」と「少子高齢化の進行」が大きな社会問題となっているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指した活動などを視野に入れたガイドラインの作成などを, 他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また, 2021年夏に開催予定の東京オリンピックを視野に入れた, 競技スポーツにおける安全対策, 特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も検討してゆく。
 - ・財務委員会
 - 令和4年度予算案の作成
 - ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規(令和2年2月21日改定)の周知をはかり, 評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す。
 - ・渉外委員会
 - 1) 国際交流事業
 - (ア) ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
 - ①2020 Seville 2020.10.28-30
(COVID19のため延期された新日程)
ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
“Muscle Relaxation in Sports”
シンポジスト: 加藤考基(南山大学), 大高千明(奈良女子大学), Vogt, Tobias(ケルン体育大学: 座長)
 - ②2021 Glasgow 公募申請準備中
(国内選考済み)
 - (イ) 第75回日本体力医学会大会(鹿児島)
2020.9.24-26における国際交流事業: ECSS 2019 Young Investigators Award Winnersの招聘
 - (ウ) ECSS 2020 Seville 2020.10.28-30 Young Investigators Award Winnersの日本体力医学会大会(2021三重大会)への招聘
 - (エ) 国際学術交流奨励賞
 - (オ) 2020横浜スポーツ学術会議(2020.9.8-12)のシンポジウム担当
(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)
 - (カ) 他の国際学会との連携
 - ①AFSM(アジアスポーツ医学会), FIMS(国際スポーツ医学会)
 - ②ACSS(Asian College of Sports Science 仮称)準備委員会設立時参加国(予定): China, Singapore, Malaysia, Hong Kong, Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and Japan
 - ③韓国運動生理学会
 - 2) 国内関連学術団体との交流・連携
 - (ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議
 - (イ) 国内学会との連携
 - ①日本生理学会大会
 - ②サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動療法学会など
 - ・倫理委員会
 - 1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - 2) 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
 - ・広報委員会
 - 1) ホームページのコンテンツ追加に関する検討
 - 2) その他, 本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
 - ・利益相反委員会
情報収集に努める
 - ・全国地方会実行委員会
 - 1) 新型コロナウイルスに対する各地方会の対応を紹介しあって相互に支援する。
3. 第75回日本体力医学会大会(鹿児島)の実施
大会長: 徳田修司(鹿児島大学名誉教授・鹿屋体育大学特任教授)
会期: 2020年9月24日(木)~26日(土)
会場: 鹿児島大学(共通教育センター, 稲盛会館)
4. 第76回日本体力医学会大会(三重)の準備
大会長: 加藤 公(鈴鹿回生病院病院長)
会期: 2021年9月17日(金)~19日(日)
会場: 三重県総合文化センター
5. 令和3年度会計報告(予算)に関する件(鈴木理事長)
令和3年度会計報告(予算)についても, 宮川財務委員長が欠席のため, 代わりに鈴木理事長がされた。
収入の部について, 令和3年度収入予算小計は59,630,500円で, 令和2年度予算小計および収入決算

額小計よりも60～68%相当の低額予算が計上された。その理由として、第75回年次学術大会（於鹿児島）が新型コロナウイルス感染拡大防止の見地からWeb形式に変更したことによる開催収入見込み額の減少（16,413,000円）、スポーツ医学研修会中止による参加費収入減少（0円）、デサントからの協賛金（国際交流基金）が1,000,000円から500,000円に減額されたことが挙げられた。また、支出の部について、令和3年度支出予算小計が59,744,000円（令和2年度予算小計額の60%）で計上された理由として、第75回年次学術大会開催様式がWeb形式に変更されたことやスポーツ医学研修会中止等による事業費支出が大幅に減少し、令和3年度支出予算小計額が令和2年度予算小計額の60%になったこと、が挙げられた。収支予算額は、令和3年度収入予算小計額59,630,500円に対し、支出予算小計額は59,744,000円となり、-113,500円（=59,630,500-59,744,000）の赤字予算となっていることが説明された。

【審議事項】

6. 評議員推薦に関する件（大野評議員選考委員長）

令和2年度評議員推薦に関しては8名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。新評議員（8名）

石原 暢	稲見崇孝	紙上敬太
都築孝允	藤田直人	安田智洋
山田孝禎	與谷謙吾	

7. その他

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回の評議員会がWeb開催になった。今後もこのようなWebでの開催が主流になっていくことが予測される。来年度の評議員会は、対面式の開催ができることを願い、評議員会が終了した。

一般社団法人日本体力医学会 令和2年度社員総会 議事録

日 時：2020年9月23日(水)

午後6時00分～午後7時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登、碓井外幸、西平賀昭、
武政 徹、赤間高雄、太田 真、
大野 誠、栗原 敏、後藤勝正、
小山勝弘、下光輝一、新開省二、
須田和裕、須永美歌子、竹森 重、
田中喜代次、中里浩一、永富良一、
成田和穂、浜岡隆文、前田清司、
宮内 卓、和気秀文各理事、
井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事

出席社員数：28名（議決権個数28個）

議事録作成者：鈴木政登

社員総会開催に先立って、第75回大会長徳田修司先生のご挨拶があった。続いて、武政常務理事により、“Zoomを用いたWeb形式による評議員会兼社員総会が成立するのか”という件に関して説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数529名のうち、委任状を含めて過半数（265名）以上の出席があれば開催可能となる。現時点（2020年9月23日午後5時30分）で、評議員Web登録委任状および往復はがき委任状併せて258名、Web理事会に出席している28名の理事、監事は全て評議員であり、合計286名となる。過半数265名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、報告された。一方、社員総会については、定款第19条に“社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う”と記載されており、何人以上の正会員の出席が必要という決まりはない旨、説明された。2020年9月23日のWeb形式社員総会に参加した会員数は28名であり、14名以上の承認によって決議される。尚、例年、評議員会兼社員総会会場に於

いて配布される会議資料は日本体力医学会HPに掲載されていることが報告された。

武政常務理事により、Web形式による令和2年度社員総会開催が宣言された。

【報告事項1】

1. 令和2年度庶務報告に関する件（武政総務委員長）

1) 会員総数3,943名（2020年7月31日現在）

名誉会員	33名
正会員	3,869名
シニア会員	33名
外国会員	8名
賛助会員	6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、大正製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評議員	529名
(内) 医師	77名
(内) 非医師	452名
(内) 理事	25名
監事	4名

3) 購読数 135団体

体力科学	128団体
JPFMSM	7団体

4) 年度内入退会状況

新入会員	180名
退会者	360名
(内) 申込者	183名
自然退会	177名

2. 令和2年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和2年度事業について報告された。

1. 事業期間

2019年8月1日～2020年7月31日

2. 委員会活動

・総務委員会

◎本学会の庶務に関する事項

中富健康科学振興賞候補者推薦に関する情報収集、候補者検討

◎学会大会長に関する事項

第77回大会（栃木）の大会長候補者の選考中

・編集委員会

◎学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 8のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 9のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol.68のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 69のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

◎JPFISM掲載論文リストのメール配信

◎投稿規定追記（2019.11.20）

「JPFISM」Author Contributionsを追記

「体力科学」著者の資格と著者貢献を追記

◎JPFISMや体力科学に掲載された論文のキーワード検索について

（J-STAGE検索方法）の掲載（2019/10/11）

◎ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されている hot topic に焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFISM」Vol. 8, No. 5

第2回特集：Exercise and blood pressure: Towards better management of hypertension by exercise habituation 6編掲載

「体力科学」Vol. 68, No. 5

第3回特集：介護予防を考える 6編掲載

◎JPFISM海外Editor 6名の追加（2019年11月）

◎編集委員2名の追加（2020年5月）

◎「Study Protocol投稿受付一時停止」（2020.7.17）

「Study Protocol」投稿規程検討ワーキンググループ」による投稿規程検討

◎国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2020年度ジャーナルコンサルティングに採択（DOAJへの収録支援）

7/31ジャーナルコンサルティング「グループセミナー」に参加

◎Editorial Managerでの「ORCID」ならびに「Publons」との連携

●ORCID

（2020.2.25 Editorial Managerで連携開始）

●Publons（Clarivate Analytics社）

契約検討中（有料）

・学術委員会

学術委員会では、下記の5の小委員会にて学会活動をやってきた。

その中の、「プロジェクト研究委員会」は今年度で終了した。

1) スポーツ医学研修会委員会

◎令和2年度（第31回）スポーツ医学研修会

当初、本年度のスポーツ医学研修会は、基礎コース7月4、5日、応用コース9月18、19、20日（修了試験）に予定されていた。ところが新型コロナウイルス感染拡大を受けて、令和2年3月30日に理事会メール審議にて本研修会は中止が決定された。中止の決定は本学会ホームページおよび体力科学69巻3号にて告知した。

2) 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」

申請時に委員会にて審査したものを理事会にて承認して頂き、それを総会にて報告した。

3) 学会賞選考委員会

第33回日本体力医学会賞候補の選考を行った。

4) ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「少子高齢化の進行」が大きな社会問題となっているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指した活動などを視野に入れたガイドラインの作成を、他の学術団体との協力も含めて進めている。

また、2021年夏に開催予定の東京オリンピックを視野に入れた、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成を、他の学術団体との協力も含めて進めている。

・財務委員会

令和3年度予算案の作成と令和2年度の予算の適切な執行の確認。

・利益相反委員会

情報収集に努めた。

・評議員選考委員会

①令和元年度新評議員候補者12名（内、女性2名）を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。

②令和2年度評議員候補者推薦書の書式を一部変更した。

③各種委員会の任期満了に伴い、委員会構成メンバーが一部変更された。（委員長は留任）

④評議員選考内規を一部変更し、理事会の承認を受けた後、学会ホームページと機関紙にて衆知をはかった。

⑤令和2年度新評議員候補者8名（全員男性）を選定した。

・渉外委員会

1. 委員長：永富良一

副委員長：宮下政司，和気秀文

委員：荻田 太，小熊祐子，浜岡隆文，藤田 聡，山内秀樹，秋本崇之，丸藤祐子，奥津光晴，関根紀子，

橋本健志, 門間陽樹, 鎌田真光,
福 典之

2. 国際交流事業

(ア) ECSS-JSPFSM Exchange Symposium 中止

①2020-Seville-2020.10.28-30

(COVID19のため延期された新日程)

ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
"Muscle Relaxation in Sports"

シンポジスト: 加藤考基(南山大学), 夫高千明(奈良女子大学), Vogt, Tobias(ケルン体育大学: 座長)

②ECSS 2020.10.28-30 オンライン開催

交流シンポジウム中止

③ECSS 2021 Seville, ECSS2022 Glasgow に
予定変更

1. 2021 Glasgow 公募申請未定

(国内選考済み)

(イ) 第75回日本体力医学会大会(鹿児島)

2020.9.24-26における国際交流事業: ECSS

2019 Young Investigators Award Winners
の招聘

来年度に繰り越し予定

(ウ) ECSS 2020 Virtual 2020.10.28-30 Young

Investigators Award Winnersの日本体力医

学会大会への招聘 検討中

(エ) 国際学術交流奨励賞

(オ) 2020横浜スポーツ学術会議

(2020.9.8-12 Web会議) 企画

(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)

Web

日本体力医学会提案企画

ライブ開催9月11日

16:00-17:30 Sports under the COVID19
pandemic (K16)

Tim MEYER, Stephane BERMON, Ryoichi
NAGATOMI

17:30-19:00 Technology and sports (Q24)

Hiroaki HOBARA, Stephane BERMON,

Tetsuo NISHIYAMA

(カ) 他の国際学会との連携

(下記が予定されているが、いずれも延期・中止)

①AFSM (アジアスポーツ医学会), FIMS (国際
スポーツ医学会)

②ACSS (Asian College of Sports Science
仮称) 準備委員会設立時参加国(予定):
China, Singapore, Malaysia, Hong Kong,
Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and
Japan

③韓国運動生理学会(The Korean Society of
Exercise Physiology)

3. 国内関連学術団体との交流・連携

(ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同
会議

(イ) 国内学会との連携

①日本生理学会大会

②サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動

療法学会など

・倫理委員会

◎大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・広報委員会

1) 学会ホームページの管理・運営

2) 学会ホームページのコンテンツ(刊行物紹介)
の追加

・男女共同参画推進委員会

1) 男女共同参画学協会連絡会 第18期 運営委員
会への出席

2) ワークショップ開催に関する検討

・全国地方会実行委員会

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で2月以来
各地方会の大会が中止となっているが, 求めに応
じて助言を行った。

3. 第74回日本体力医学会大会の実施

大会長: 田中喜代次(筑波大学名誉教授)

会 期: 2019年9月19日(木)~21日(土)

会 場: つくば国際会議場

4. 令和3年度日本体力医学会健康科学アドバイザー

◎称号認定者

・新規 5名

石根左恵 静 貴生 橋本俊英

三宅秀夫 武藤麻衣

・継続 5名

高寄正樹 青木昌弘 田口太郎

植村 望 トンプソン雅子

・終身 7名

五十嵐貴仁 小貫睦巳 表 郁夫

新矢博美 田崎博識 松山 茂

村瀬智彦

【審議事項】

3. 令和2年度会計(決算)に関する件(鈴木理事長)

宮川財務委員長が欠席のため, 鈴木理事長が代理で
報告された。

令和2年度収支決算書(令和元年8月1日~令和2
年7月31日)収入の部について, 令和2年度収入予算
小計額は98,138,800円であったが, 収入決算小計額は
87,339,887円であった。この差額10,798,913円が生じた
主な原因は, 第74回つくば大会における収入決算額
の大幅な減少である, ことが説明された。また, 支出
の部について, 令和2年度支出予算小計額99,184,800
円に対し, 決算小計額は80,113,398円で, 19,071,402円
の差額が生じた。支出決算額の大幅な減額は, 主に第
74回つくば大会支出決算額の大幅な減少に起因して
おり, その他に, 新型コロナウイルス感染拡大防止の
ため, 国内外交流事業の中止, スポーツ医学研修会中
止による運営費の支出減少や対面式理事会の中止に
よる会議室借用代, 会議出席者の旅費等が減少した
結果に起因したことが説明された。収支決算額につ
いては, 令和2年度収入決算小計額87,339,887円に対
し, 支出決算小計額は80,113,398円となり, 7,226,489
円(=87,339,887-80,113,398)の黒字となったこと
が報告された。令和2年7月31日現在の正味財産は
102,999,060円で, 昨年(令和元年7月31日)現在の正味

財産97,069,306円に比較し、5,929,754円増額となっている。新型コロナウイルス感染拡大防止のために種々の事業中止等による支出減少に起因したためであるとの説明がなされた。また、本決算については公認会計士によるチェックが行われていることが併せて報告があり、清田監事より監査報告が行われ、審議の結果、承認された。

【報告事項2】

4. 令和3年度事業計画に関する件（各委員長）

令和3年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

1. 事業期間

2020年8月1日～2021年7月31日

2. 委員会活動

・総務委員会

第78回佐賀大会の大会長の推薦
学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会

1) ジャーナルの発行、公開

JPFMSM: Vol. 9-4～10-3 (合計6号)
体力科学: Vol. 69-4～70-3 (合計6号)

2) 掲載論文数を増やす

[JPFMSM]: 特集を掲載する。
[体力科学]: 特集を掲載する。

3) 「ACSM運動処方指針(原著第10版)」の翻訳本の出版

4) JPFMSMに掲載する大会抄録における研究倫理記載事項の検討

・学術委員会(碓井外幸委員長, 須田和裕副委員長)

1) スポーツ医学研修会実行委員会

(中里浩一委員長)

第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の実施
(学会HP・体力科学に案内を掲載)

※令和2年度に中止した第31回スポーツ医学研修会を実施

2) 称号委員会(碓井外幸委員長)

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査をスポーツ医学研修会後の申請により実施

3) 学会賞選考委員会(前田清司委員長)

第34回日本体力医学会賞候補の選考を実施

4) ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「少子高齢化の進行」が大きな社会問題となっているわが国における、「健康寿命の延伸」を目指した活動などを視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、2021年夏に開催予定の東京オリンピックを視野に入れた、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も検討してゆく。

・財務委員会

令和4年度予算案の作成

・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規(令和2年2月21日改定)の周知をはかり、

評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す。

・渉外委員会

1) 国際交流事業

(ア) ECSS-JSPFSM Exchange Symposium

①2020 Seville 2020.10.28-30

(COVID19のため延期された新日程)

ECSS-JSPFSM Exchange Symposium
“Muscle Relaxation in Sports”

シンポジスト: 加藤考基(南山大学), 大高千明(奈良女子大学), Vogt, Tobias(ケルン体育大学: 座長)

②2021 Glasgow 公募申請準備中

(国内選考済み)

(イ) 第75回日本体力医学会大会(鹿児島) 2020.9.24-26における国際交流事業: ECSS 2019 Young Investigators Award Winnersの招聘

(ウ) ECSS 2020 Seville 2020.10.28-30 Young Investigators Award Winnersの日本体力医学会大会(2021三重大会)への招聘

(エ) 国際学術交流奨励賞

(オ) 2020横浜スポーツ学術会議(2020.9.8-12)のシンポジウム担当

(http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html)

(カ) 他の国際学会との連携

①AFSM(アジアスポーツ医学会), FIMS(国際スポーツ医学会)

②ACSS(Asian College of Sports Science 仮称)準備委員会設立時参加国(予定): China, Singapore, Malaysia, Hong Kong, Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and Japan

③韓国運動生理学会

2) 国内関連学術団体との交流・連携

(ア) 脳心血管病予防に関する包括的管理合同会議

(イ) 国内学会との連携

①日本生理学会大会

②サルコペニアフレイル学会, 日本臨床運動療法学会など

・倫理委員会

1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

2) 大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・広報委員会

1) ホームページのコンテンツ追加に関する検討

2) その他, 本学会に関わる事項の広報活動

・男女共同参画推進委員会

1) 男女共同参画推進に関する情報収集

2) 学術大会での企画検討・実施

・利益相反委員会

情報収集に努める

・全国地方会実行委員会

1) 新型コロナウイルスに対する各地方会の対応を紹介しあって相互に支援する。

3. 第75回日本体力医学会大会(鹿児島)の実施

大会長：徳田修司（鹿児島大学名誉教授・鹿屋体育大学特任教授）

会 期：2020年9月24日(木)～26日(土)

会 場：鹿児島大学（共通教育センター、稲盛会館）

4. 第76回日本体力医学会大会（三重）の準備

大会長：加藤 公（鈴鹿回生病院病院長）

会 期：2021年9月17日(金)～19日(日)

会 場：三重県総合文化センター

5. 令和3年度会計報告(予算)に関する件(鈴木理事長)

令和3年度会計報告(予算)についても、宮川財務委員長が欠席のため、代わりに鈴木理事長がされた。

収入の部について、令和3年度収入予算小計は59,630,500円で、令和2年度予算小計および収入決算額小計よりも60～68%相当の低額予算が計上された。その理由として、第75回年次学術大会（於鹿児島）が新型コロナウイルス感染拡大防止の見地からWeb形式に変更したことによる開催収入見込み額の減少(16,413,000円)、スポーツ医学研修会中止による参加費収入減少(0円)、デサントからの協賛金(国際交流基金)が1,000,000円から500,000円に減額されたことが挙げられた。また、支出の部について、令和3年度支出予算小計が59,744,000円(令和2年度予算小計額の60%)で計上された理由として、第75回年次学術大会開催様式がWeb形式に変更されたことやス

スポーツ医学研修会中止等による事業費支出が大幅に減少し、令和3年度支出予算小計額が令和2年度予算小計額の60%になったこと、が挙げられた。収支予算額は、令和3年度収入予算小計額59,630,500円に対し、支出予算小計額は59,744,000円となり、-113,500円(=59,630,500-59,744,000)の赤字予算となっていることが説明された。

6. 評議員推薦に関する件(大野評議員選考委員長)

令和2年度評議員推薦に関しては8名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、評議員会にて承認された旨、報告がなされた。

新評議員(8名)

石原 暢	稲見 崇孝	紙上 敬太
都築 孝允	藤田 直人	安田 智洋
山田 孝禎	與谷 謙吾	

7. その他

鈴木理事長より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回の評議員会兼社員総会がWeb開催に変更された。今後もこのようなWebでの会議開催が主流になっていくことが予測される。来年度の評議員会兼社員総会は、対面式の開催ができることを願う、との挨拶後、評議員会兼社員総会が終了した。

第25回日本体力医学会東海地方会のご案内

【日 時】2021年3月14日(日) 9:00～17:00

【会 場】Zoomによるオンライン開催

【大会長】村上太郎(至学館大学健康科学部栄養科学科)

【会 費】無 料

【予定プログラム】

1) 一般演題

2) シンポジウム

「東海地方発の骨格筋研究の最前線」

小笠原理紀(名古屋工業大学), 奥津光晴(名古屋立大学), 渡邊航平(中京大学)

3) 特別講演

「withコロナ時代のスポーツ活動

～プロサッカーチームの取り組み～」

近藤精司(至学館大学短期大学部)

【参加登録事前申込】

・必須(Zoomアドレス等の送付のため)

参加希望者は、以下のgoogle formsで事前登録を行なってください

https://docs.google.com/forms/d/1A25g701wOxrgELmqozM_7Td4vHi5GwQ08C84XqxrGE/edit

・参加登録事前申込の締切日:2021年3月12日(金)

【一般演題申込】

・参加登録申込に引き続きgoogle formsにて演題の登録をお願いします

・演題申込の締切日:2021年2月14日(日)

【一般演題募集要領】

・Zoomの画面共有でご発表頂きます。

・インターネットへは有線での接続を推奨します。

・通信環境が整わない場合は、至学館大学の施設を利用して頂くことを考えていますが、状況によってはそれも難しくなることが予想されます。ご自身の通信環境を整備いただいた上でご参加いただければと存じます。

・発表者が非会員の場合演題登録料(体力科学掲載料含む)3,000円を徴収いたします。

・一般演題から1-2演題を選出し、「奨励賞」を授与致します。

対象者 年齢が40歳未満

日本体力医学会会員

本奨励賞を過去に受賞していない者

【単位について】

健康運動指導士及び健康運動実践指導者(申請中)

連絡先

第25回日本体力医学会東海地方会学術集会事務局

十枝内厚次

(至学館大学健康科学部健康・スポーツ科学科)

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55

TEL: 0562-46-1292 (内線820)

E-mail: 25htairyokutoukai@gmail.com

編 集 後 記

2021年最初の「体力科学」第70巻1号をお届けします。本号は、9月に三重県で開催されます第76回日本体力医学会大会のご案内（第2報）、Webにより昨年9月に開催されました第75回大会（鹿児島大会）の指定演題の抄録、原著論文4編、資料2編、JPFISM, Vol. 10, No. 1 (2021)の抄録などから構成されています。4編の原著論文は、いずれも高校あるいは大学のアスリートの様々な側面に焦点を当てた大変興味深い内容となっています。ぜひ、じっくりとご覧ください。論文を投稿いただきました著者の皆様、ならびに査読をご担当いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。会員の皆様におかれましては、引き続き体力科学とJPFISMへのご投稿をお願いいたします。

私事ですが、2019年9月に編集委員を拝命いたしました。私が理学療法士ということもあり、理学療法士の先生方が投稿された論文を担当させていただくことが多くあります。個人的な見解ですが、理学療法士が日本体力医学会大会で発表したり、「体力科学」や「JPFISM」に論文を投稿したりすることは、非常に意義深いことだと思っています。それは、「理学療法にとらわれすぎない」という点も理学療法研究を進める上で重要であると考えからです。

私の大学院の指導教員は理学療法士ではなく、運動生理学を専門とする先生でした。自分が理学療法士になる

ために学んできたことや、理学療法士になって臨床現場で経験してきたことに、いつの間にかとらわれてしまっていることによく気付かされました。同じ現象でも、見る人が変われば、その解釈が大きく異なることもあります。理学療法士の先生方が、本学会のように多くの職種が集う場に積極的に参加し、研究を深めていくことが、結果的に対象者に対する理学療法を進展させる一助になると思っています。

最後に、昨年のことを思い返してみますと、新型コロナウイルス感染症のことばかりが頭をよぎります。そして、この原稿を書いている時点では、収束する見通しが全く立ちません。いつになったら以前のように戻るのか、それとももう以前のように戻ることはないのか、そんなことばかり考えてしまいます。しかし、悪いことばかりかといえ、そうではないかもしれません。このような状況だからこそ、様々な工夫を試みたり、新たなことに挑戦したりしている先生方も多いのではないのでしょうか。今年がどのような年になるのかはまだ分かりません。ただ、1年後に振り返った時に、悪くない2021年だったと言えるように一日一日を大切にしていきたいと思えます。末筆ではありますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

富田 秀仁

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 70, No. 1

体 力 科 学 第 70 巻 第 1 号

令和 3 年 1 月 25 日 印 刷
令和 3 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社